

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果について

4月に6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、その調査結果が千曲市報（11月号）で公表されました。本校でも調査結果を分析し、成果と課題を明らかにして、これからの学習指導に役立てていきます。成果と課題を保護者の皆様と共有していかれるよう、本校の全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

※調査結果は学力の一部分で、学校における教育活動の一側面をとらえたものです。

（1）教科に関する調査結果の概要（平均正答率と考察）

調査内容	学 習 指 導 要 領 の 領 域
国語に関する問題	○全国・長野県の平均正答率と同程度でした。 ①「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」相当数の児童ができています。 ②「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」多くの児童ができていますが課題があります。 ③「話すこと・聞くこと」 50％を上回っていますが課題があります。
算数に関する問題	○全国・長野県の平均正答率と同程度でした。 ①「数と計算」「図形」多くの児童ができていますが課題があります。 ②「変化と関係」 50％を下回り課題があります。 ④「データの活用」 50％を上回っていますが課題があります。

【国語】

- ①「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、話し言葉と書き言葉との違いについて、多くの児童ができていますが課題があります。文書記述において、常体や敬体など文章の様式の違いに気づき、適切に活用できるよう指導していきます。
- ②「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことは相当数の児童ができています。資料や図表から読み取れること、その内容について考えられることを話し合ったり、記述したりする場の設定を引き続き行っていきます。
- ③「話すこと・聞くこと」に関して、資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題があります。資料を活用して自分の考えを伝える学習の場を設定し、必要な資料を選定したり、資料のどの部分が自分の考えの裏付けとなるのかを表現したりする力を育むべく指導をしていきます。
- ④「書くこと」では、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることはよくできています。一方で、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。文書の組み立ての段階で、ICT 機器の色別カードなどを用いて、事実、感想、意見を分類して書いたり、それを推敲したりする学習活動を設けるとよいのではないかと考えております。
- ⑤「読むこと」では、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることはよくできていました。人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること課題があります。想像したことを話し言葉や文章で表現する指導をしていきます。

【算数】

- ①「数と計算」において数量の関係を口を用いた式に表すことや、「図形」において立方体の見取図について理解し、かくことについて、多くの児童ができています。球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことには課題があります。問題場面の理解を深めるために必要に応じて具体物を用いる学習活動を設けるとよいと考えられます。
- ②「変化と関係」「データの活用」では、円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができています。道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題があります。速さ・道のり・時間の公式を覚えることに終始せず、式の意味を説明する学習活動等を積み重ね繰り返し指導します。

【全教科を通して】

- ①自分で考えたことや調べた資料を整理し、まとめていく力をつけていきます。
 - ・自分の考えをまとめたりお互いに伝え合ったりし、自分と友達の考えやまとめ方の違いに気づき、良いところを共有できる場を多く設けます。また、まとめるためのワークシートやロイロノートの活用方法を工夫し、児童が自らまとめていけるようにします。
- ②問題や資料の内容を的確にとらえ、条件を満たして答える力をつけていきます。
 - ・内容を的確にとらえるために、各段落や文からキーワードとなる語句等を見つけ、アンダーラインを引いたり、逆読みをしたりするなどの工夫をして、分かっていること、答えること等を自ら考えることができるようにしていきます。資料の見方を丁寧に指導していくとともに、資料からわかることをお互いに伝え合う学習を取り入れていくようにします。どうしてそうなるのか（考えるのか）を文章化する活動をどの教科でも取り入れていくようにします。

（２）生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいですか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について良好な結果が得られました。自己肯定感を高め、相手を思いやり、友達や先生、自分のよさに気づけるような学校を目指してきた成果だと考えます。
- ・「５年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の項目では、多くの児童がPC・タブレットなどのICT機器を活用し、そのよさに気づいている結果が得られました。学習にPC・タブレットなどのICT機器を活用する機会を多く取り入れてきた成果だと考えます。また、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の項目においても良好な結果が見られました。ICT機器等の活用のルールやマナーを身につけてきていると考えられます。

◆2学期も残りわずか～学習のまとめ、がんばります◆

6年生の全国学力学習状況調査の結果は、一つの目安として、6年生の日々の学習活動に活かしてきているところです。他の学年でも、PDCAサイクルを意識した指導を心掛けて学習活動をしてきています。2学期も残りわずかとなり、まとめの期間に入っていますが、児童会主催の「ゆいと祭り」や各学年での企画など、楽しい行事も取り入れながら2学期の締めくくりをしたいと思います。